

このファームウェアは Omada SDN プラットフォームに完全に適応していますが、Omada コントローラー v4.1.5 以上にしか対応していません。

古い Omada コントローラーを使用していて、EAP のためにこのファームウェアをアップグレードする場合は、Omada コントローラーもアップグレードする必要があります。：
[アップグレードガイド](#)

新機能/変更点:

1. Automatic Tx Power deployment に対応しました。
2. Omada コントローラーの無効な IP アドレスに EAP を移行する際に、EAP がロールバックする機能を追加しました。
3. Omada アプリのスタンドアロンモードで、CPU 使用率、メモリ使用率、帯域関連の設定を表示する機能に対応しました。
4. 電源供給が不安定だと、まれに EAP が初期化される問題を最適化しました。

修正したバグ:

1. SSID VLAN を有効にすると、まれに無線接続端末が IP アドレスを取得できなくなる不具合を修正しました。
2. Omada アプリのスタンドアロンモードで、5G Wi-Fi の帯域幅を変更した後、取得したチャンネルリストが変更されないという不具合を修正しました。
3. Omada アプリのスタンドアロンモードで、Huawei や Samsung などの Android 端末のアイコンがクライアントリストやブロックリストに表示されないという不具合を修正しました。
4. 5GHz 帯の帯域幅が自動に設定されている場合、EAP が 20MHz の帯域幅しか使用しないというバグを修正しました。

注意

1. EAP235-Wall (JP) v1 専用
2. 日本の MKK 認証を受けており、このファームウェアにアップグレードをすると EU/US 版にダウングレードすることはできません。
3. このバージョンのファームウェアは Omada アプリのバージョン 3.2.3x 以上に適用されます。